

6年2組学級通信

平成 20 年 11 月 17 日発行

発行者 眞智 富子

朝晩の冷えが厳しくなってきました。朝の健康調べでものどの痛みや風邪を引いている子どもたちがなかなか少なくなりません。体を冷やさないようにして、夜は早めに休みたいものですね。

さて、11月には各種行事もひと段落し、一番落ち着いて学習ができる時期です。6年2組では、先週の12日(水)に鳳珠郡の音楽教育研究会の先生方が参観された『バンジーチャイム演奏会』、13日(木)は6年生合同での『宿泊体験学習：班別自由行動発表会』、14日(金)は奥能登地区のきめ細かな指導推進協議会の先生方が集られ6年生の少人数の算数の学習を授業公開しました。

HPで様子の一部をご覧いただくこともできますが、12日の『バンジーチャイム演奏会』は本通信で、13日の様子は学年便りでお伝えいたします。

能登町初！ バンジーチャイム演奏会

4月に、音楽教育研究会で、11月に公開授業をすることを約束し、その後、ずーっと何をしようかなと考えていました。できたら、子どもたちも、見に来てくださる先生方も、そして授業をする自分も、思い切り楽しめるものにしたいと思っていました。私は、かなりの欲張り人間です。

そこで、8月、小松楽しい授業研究会が主催する学習会に参加したときに、本を購入し、読みますすめ、そこで世界一投げやりな楽器『バンジーチャイム』を使った演奏会をしようという心を決めました。バンジーチャイムの存在は以前から知っていたのですが、その演奏方法などいろいろなことを気になりながら、ずーっと詳しく調べずにいました。

でも、授業をすることをきっかけに、いろいろな知識を得て、北海道(旭川)の樋栄さんにもご協力いただきながら、12日、念願の演奏会を開くことになったのです。

子どもたちの評価も5：とても楽しかったが14人、4：楽しかったが10人、3以下はないという高評価！！さて、どんな感想が寄せられたのでしょうか。

今日は、バンジーチャイムという真ちゅうでできたパイプを落としました。私は最初見たとき準備室にあるやつかと思いました。2曲目は何か分からなかったけど、ゆっくりやったらわかったのもおもしろかったです。みんなで、「星に願いを」という曲をやりました。とても楽しかったです。また、みんなでバンジーチャイムでいろんな曲をしたいです。

準備室にあるのは、ツリーチャイムといって、真ちゅうのパイプがつられています。ウィンドウチャイムともいいますよ。

今日の音楽では、プラスでできたバンジーチャイムを初めて演奏しました。ピアノカヤリコーダーよりも簡単で、とても楽しかったです。いつもの音楽はつまらなかったけど、今日の音楽はとても楽しかったです。

そう、バンジーチャイムはとっても簡単。バンジージャンプのように床に落とすんですもの。今日は、音を楽しめた音楽だったのですね。



今日、バンジーチャイムをして、いろんな音楽をして、一番最初に番号を見たときには？と思ったけど、やってみるとすごく楽しかったです。「チャイム」と「大きな古時計」と「星に願いを」と「ふるさと」を演奏して、最後に歌うときに間違えてしまったけど、楽しかったです。

演奏した曲を全部覚えてくれててありがとう。最後の歌は、先生方へのおまけで、とてもほめていただきました。

今日の研究授業で、バンジーチャイムの演奏会をやりました。ただ落とすだけで音が鳴ってすごいと思いました。代表者がやったときもすごいと思ったけど、自分でやってみてさらにすごいと思いました。しかも能登町で初めてなんて、ラッキーでした。またやりたいです。

そうです。能登町初お披露目でした。みんなで「星に願いを」ができたときには、本当にうれしかったですね。11月中には新品のバンジーチャイムが私のところに届く予定です。これが楽しみなんです。

今日はバンジーチャイムをみんなで演奏しました。私は、バンジーチャイムを見たのは初めてだし、演奏したのも初めてです。バンジーチャイムをさわって落とすとき、みんなの音と違って、おもしろい楽器だなと思いました。演奏を終えたとき、後ろにいたお客さん（先生方）が拍手をしてくれ、アンコールも言ってくれてうれしかったです。最後の「ふるさと」もすごくよかったです。

音楽の先生方もすごく楽しんでくださり、のりがいいかばかりで、2度もアンコールしてください、すごい演奏会となりましたね。

今日の5時間目、真ちゅうでできたバンジーチャイムという楽器を初めて見ましたし、初めてさわりました。5円玉と同じ金属でいろんな曲を演奏できるのが不思議でした。12月の今月の歌になっている「星に願いを」(ピノキオ)を聴いたので、12月は今月の歌をすぐに覚えられそうです。バンジーチャイムでももっているような曲を演奏してみたいなと思いました。あと、思ったよりも軽かったです。

同じ金属でも、作り方によっていろんなものになるから不思議ですね。12月の星に願いをの前座に出させてもらいたいくらいですが・・・。

今日の研究授業で、音楽をしました。楽器はバンジーチャイムをしました。バンジーチャイムは能登町初？！だったそうです。バンジーチャイムは真ちゅうという金属できていて、とても音が高かったです。「落とすだけでできるのは簡単だな・・・。」と思いました。学校に来てくださって先生方には、自分たちの歌も聞いてもらえてよかったです。

・・・5時間目、いやだったなあ・・・

だって、みんな帰ってるのにね(笑)。でも楽しんでもらえる時間になってなによりです。みんなのいいところを先生方に伝えられてよかったです。

真ちゅうという金属を初めて知りました。し・か・もプラスというのも初めて聞きました!! 家族に自慢します。バンジーチャイムも初めて見たし、初めて聞きました。初! 小学校で公開!! 短い方が高い音で、金も落とすとそうなるのかなぁと思いました。演奏できてとてもうれしかったです。

真ちゅう=プラス、音の仕組みなど学ぶことも多かったですね。真ちゅうじゃない金属はどうなるのでしょうか。私も試してみたい所です。

音楽室に入ったとき「準備中」だったのでびっくりして、さらにバンジーチャイムにはびっくりした。プラス(真ちゅう)は石川県で披露されたのが、3回目だというのがとてもすごいことかなと思いました。それとアンコールが何回も続いたので、とても疲れました。でもバンジーチャイムは、とてもおもしろい楽器だったのでいい勉強でした。

演奏会が始まる前は準備中のフィリップだったのでビックリだったでしょう。石川県3回目というのは、私が見たのが今までに2回ということです。金沢の方で楽器を持っていらっしゃる先生がおられるので、その方の学校ではされているかもということであしからず。

今日は5時間目でやだなと思いました。バンジーチャイムという楽器で演奏をしました。最初は何をやるのかなと思いながら聞いていました。真ちゅうの音はとっても高い音でした。バンジーチャイムで演奏したときが一番楽しかったです。また、今度もしてもいいけど、5時間目があるのはやだなと思いました。

バンジーチャイムをみんなで演奏する楽しさを感じてもらえてすごくうれしいです。1月にもう一度、このような5時間目の授業があります。内容はおたのしみにです。



今日の音楽は、バンジーチャイムで演奏しました。バンジーチャイムは初めて見て、とてもいい音でした。あんな棒みたいなのに、よくきれいな音がでるな〜とびっくりしました。演奏したのはとても楽しかったです。バンジーチャイムの材質の真ちゅうは、英語でプラスがとても不思議でした。たのしかったです。

みんなで落とすだけでも音楽になる手軽さと、その楽しさを感じてもらえてうれしいですね。音って不思議ですね。

今日のバンジーチャイム演奏会のバンジーチャイムを始めてみました。石川県では3回目、能登町では1回目。真ちゅうのパイプで、ドレミファソラシドの音がでることを初めて知りました。夏子さんが隣で木琴や鉄琴と同じ(短い・長い)なんじゃない?と言ったとき、あ〜と思いました。1階だけだったけど、バンジーチャイムを演奏できたのでよかったです。すごく楽しかったです。

演奏回数は、前述のとおりであしからず。長さによって音が変わる楽器は、木琴、鉄琴の他に、実はさきさんがよく使っている楽器にも秘密があります。何か考えてみてね。

今日、6年2組だけ5時間目の音楽の勉強をしました。真ちゅうでバンジーチャイムをしました。「星に願いを」と「大きな古時計」と「ふるさと」をやりました。真ちゅうでいろいろな音楽になるんだなぁと思いました。能登町初なのでいい思い出になりました。

音っているんなものから出ますが、出す物、出し方、出てくる音には違いがあります。それを楽しむのが、本当の音楽かもしれませんね。

ぼくは、パイプでつくってあったのがすごかったです。楽しかったです。1番楽しかったのは、眞智先生の紙芝居の姿でした。

うれしいな。あの紙芝居（フィリップブック）を楽しんでもらえて。よくできているでしょう。考えた楽知ん研究所の方に感謝です。

バンジーチャイムを初めてさわりました。あんな棒でも音の段階を何段階も変えられて、曲を作れるのは、すごいなぁと思いました。速さを変えたりすることで、全然違う曲に聞こえたのがおもしろかったです。みんなで「星に願いを」で順番に音を落としていったとき、間違えたりする人もいて、おもしろかったです。真ちゅう意外は音が全くでないのかなぁと思うと、とっても不思議でした。

そう。私にも新しい発見が。「大きな古時計」の出だしが「オーラリー」に聞こえてくるとは・・・。また、他の金属ではどうなのかは、いろいろやってみるといいんだけどねえ。

今日は、バンジーチャイムという楽器を使って演奏しました。バンジーチャイムは、真ちゅうというものでできています。5円玉にも使われています。最初に演奏した曲はイギリスの時計の音でした。2曲目は「大きな古時計」で、次の曲が「星に願いを」で、最後が「ふるさと」でした。最後にみんなで「ふるさと」を歌いました。今日の研究授業は、とてもおもしろかったです。

みんなで音を奏でたら、心が満たされた感じになりましたね。指揮をされていて気持ちよくなっていました。ふるさともきれいな声でよく響きました！



今日の音楽にバンジーチャイムで演奏しました。バンジーチャイムで使った楽器は、5円玉と同じ質の真ちゅうのパイプを使いました。その前に、1円、5円、10円玉の中で一番響く音が5円玉ということを知りました。バンジーチャイムで演奏した曲は、最初は、チャイム、次に「大きな古時計」、その次に「星に願いを」、最後に「ふるさと」の4つを演奏しました。とてもきれいな音でした。

お金の実験をしているときに、「お金で遊んだらだめねんよ。」とってくれた人がいましたね。身近で金属でできているものがお金です。5円玉になるかバンジーチャイムになるか、真ちゅうの材料の金属たちは自分の運命を知らないのですね。

今日5時間目に研究授業が行われ、音楽の勉強をやりました。音楽でやったのは、バンジーチャイムです。これを使った演奏は、石川県では3回目、能登町では初の演奏でした。バンジーチャイムは、5円玉と同じ物質でできていて、落としたときの音が似ていました。はじめに、チャイムを演奏し、古時計を演奏し、その次に「星に願いを」最後にふるさと演奏しました。石川で3回しか演奏していないなんてすごいと思いました。

落としたときの音の響きまで、5 円玉と比べて気をつけてくれていてうれしいです。すごいね。演奏回数は、・・・あしからずね。

バンジーチャイムの音はきれいだった。ぼくは全部のバンジーチャイムの演奏をしました。笑いあり楽しさあり、そして、能登町で初の演奏を自分がやるとは思っていませんでした。宇出津小学校にぜひバンジーチャイムを置いてほしいです。

笑いあり 楽しさあり、このバンジーチャイム演奏会のねらいを表現してくれた言葉です。宇出津小学校におけるかどうかはわかりませんが、私の予約品が届いたら、またみんなでやってみましょう！

真ちゅうという 5 円玉と同じ性質のものでバンジーチャイムというものを演奏しました。落として音を出すだけなのに、音楽になっていてすごいと思いました。バンジーチャイムという楽器は見たのも初めてだし、音を聞いたのも初めてだったので、見れてよかったです。（いつもの音楽の授業より楽しかった）

単純な操作で、みんなで力を合わせるとメロディが生まれていく。これって、祭りの太鼓とかにも共通しているかもしれないね。私がいつもの音楽と違うとっていたのは、みんなで作る演奏会だったからです。

バンジーチャイムの音は、きれいでした。石川県で 3 回目ということにびっくりしました。1 時間がとても早く感じました。また、機会があったらやってみてください。はじめは音楽だから暇だと思っていたら、バンジーチャイムというとてもおもしろいものだったので、よかったです。先生、またバンジーチャイムもってきて。

ひまでなくてよかったです（笑）。なおかつ、バンジーチャイムのリクエストありがとうございます。予約品が届くのを私も心待ちにしています。能登町初は間違いございません！

今日の音楽は「バンジーチャイム」を演奏しました。初めてバンジーチャイムを見たり、さわったりしたので、とても楽しかったです。きれいな音で、「星に願いを」には合っている音だと思いました。真ちゅうという言葉は、英語でプラスということを知りました。なぞがとけた！

どうしてプラスバンドなのか??? なぞが解けてよかったです。世の中にあるたくさんの言葉にはいろんな意味がありますね。6 - 2 プラスはとてもいい演奏ができましたね。

真ちゅうのパイプは短いと響く音が高くなるということを知りました。木琴の下のパイプの意味もわかった。バンジーチャイムの「星に願いを」は、ほぼ完璧にできた。とても簡単だった。

とっても簡単に曲ができるすごさは、痛快でしたね。また、今まで何気なく見てきた楽器の仕組みにも目がいくっておもしろい！



金属で真ちゅうは、5円玉に使われていて、一番音が響きました。それを使って作った楽器は、バンジーチャイムでした。バンジージャンプに似ているからこの名前がついたのが分かりました。これで、演奏しました。とても簡単にできたのでおもしろかったです。最後に「ふるさと」を歌いました。とてもおもしろかったです。



とても簡単に音を響かせたバンジーチャイム、みんなの息でそろえた合唱「ふるさと」どれも、すごくよかったですね。バンジーチャイムの名前の由来を聞き逃さずに、覚えていてくれてうれしいな！

参加してくださっていた先生方からもたくさんの感想をいただきました。その中から感想をお知らせします。

今日、初めてバンジーチャイムという楽器にふれました。ただ「落とせばなる」というものではなく、楽器の材質や音の高低についての学習もしていて、6年生らしく、なおかつ誰もが楽しめる1時間でした。最後に子どもたち全員で演奏したときの顔は、音楽にすっかり入り込んでいる表情でした。私も演奏に参加したいなという気持ちで参観した1時間でした。

楽しい！子どもたちと一緒に演奏してみたいと思いながら見ていました。バンジーチャイムの存在を今まで知りませんでした。テキストの内容にも驚かされ、演出や演技にもビックリ。まさに目からウロコ。音楽の原点にもどったような気がしました。

これは誰にでもできますね。でも、ただ落としていてもいい演奏にはならない。落とすタイミングも重要なので、リズム感も必要。これは演奏していく上で、聞いている途中で子どもたちはわかっていました。自然と耳だけで音が鳴るいいタイミングをつかんでいました。

この夏から、やりたいと考えていたバンジーチャイム演奏会をさせてもらえる機会にめぐまれてうれしかたし、幸せでした。なにより参加の33人のみなさんがたのしんでくれたという感想に、すごくうれしいです。

途中でもかきましたが、この楽器をつくってくださった楽知ん研究所のみなさんには感謝、感謝です。



また、授業の反省会では、先生方が「演奏希望者が多くなると、譲っている子がいた。」「リズムがはやくなったりすると、それを教えてあげる子がいた。」「みんなであわせようとしていた。」「だんだんバンジーチャイムを持つ手の高さがそろってきていた。」「ふるさとの合唱もすごく響いてきれいだった。」など、みんなのいいところをすごくほめてくださって、私はありがたいな。みんなのすてきな所が鳳珠郡の小中学校に広がっていくと温かい気持ちでいっぱいになりました。それも、授業で大いに楽しんでくれたみなさんがいたからです。

バンジーチャイムの演奏者（6 - 2のみんなと中前先生、角先生）のみなさん、本当にありがとうございました。